

- 問1 1973年のオーストラリアにおける輸出相手国の上位5か国は、日本、アメリカ、イギリス、ニュージーランド、西ドイツでした。しかし、2012年の統計では、中国、日本、韓国、インド、アメリカの順に変化しています。この統計の変化から読み取る、オーストラリアの貿易の傾向として最も適切なものを次から選びなさい。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. かつて上位であったイギリスなどのヨーロッパ諸国に代わり、中国をはじめとするアジア州の国々への輸出割合が高まった。 | 2. アメリカ合衆国との貿易をすべて停止し、その分をニュージーランドへの輸出に振り替えた。 | 3. 国内の工業化が進んだ結果、すべての原材料を国内で消費するようになり、輸出相手国が減少した。 | 4. 1970年代から一貫して、ヨーロッパ州の国々との貿易額がアジア州を上回り続けている。 |
|---|---|--|---|
- 問2 世界の鉱産資源の産出統計において、オーストラリアが全体の産出割合の3割を超え、ブラジルが約2割を占め、これに中国やインドが続く資源があります。この資源が、地殻変動が少なく古い地層が広がる「安定陸塊」で多く産出される理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 広大な砂漠地帯において、急激な乾燥によって地中の水分が蒸発し、残された鉱物成分が結晶化して地表に堆積したため | 2. 数十億年前の海底で、海水中の鉄分が酸素と結合して大規模に堆積した層が、激しい地殻変動を受けずに保存されたため。 | 3. 数億年前の森林地帯が地中に埋まって炭化し、なだらかな山脈が広がる古期造山帯において、地表近くに露出したため。 | 4. プレート境界付近で火山活動が活発に起こり、マグマに含まれる金属成分が冷えて固まることで形成されたため。 |
|---|--|---|--|
- 問3 ブラジルでは大規模な農地の開発によって、貴重な熱帯林が減少しているという課題があります。特に家畜の飼料などとして輸出される大豆の生産拡大がその一因となっていますが、このような状況において、現代の国際社会で求められている「自然環境」と「経済」のあり方として最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 森林の減少は一時的な現象であるため、特に対策を行わず市場経済の自由に任せる。 | 2. 自然環境を保護しつつ経済的な発展を維持する、「持続可能な開発」による両立を目指す。 | 3. 自然環境を完全に保護することを優先し、農地としての利用や一切の輸出用作物の栽培を禁止する。 | 4. 国民の所得を向上させるため、熱帯林の保護よりも農地の拡大と経済成長を最優先する。 |
|---|--|--|---|
- 問4 オーストラリアが、かつてのヨーロッパを中心とした政策から方向転換し、アジア諸国との結びつきを強めるようになった背景や影響の説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. イギリスとの経済協定が解約されたことを受けて、ヨーロッパからの移民を禁止し、鉱物資源の輸出先を限定したため。 | 2. かつての白豪主義を撤廃したことで地理的に近いアジア地域からの移民が増加し、資源や農産物の主要な貿易相手国もアジア諸国へとシフトしたため。 | 3. アジア諸国の急速な人口減少を補うため、オーストラリア側がアジア全域からの受け入れを国策として義務づけたため。 | 4. ヨーロッパ諸国との地理的距離が遠いために物流が完全に途絶え、強制的にアジア諸国との貿易のみを行わざるを得なくなったため。 |
|---|---|---|---|
- 問5 ブラジルでは近年、大豆の作付面積が増加しています。10月から3月にかけて大豆を栽培した後、同じ耕地を利用して2月から7月にかけて別の農作物を栽培する「二期作」が行われていますが、この大豆の後に「第2作」として栽培され、作付面積が急増している農作物はどれですか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|-------|-----------|
| 1. コーヒー | 2. 綿花 | 3. 小麦 | 4. トウモロコシ |
|---------|-------|-------|-----------|
- 問6 1970年頃から現代にかけてのブラジルの主要な輸出品目の変遷について述べた文として、正しいものはどれですか。統計上の変化を踏まえて選びなさい。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. かつては鉄鉱石や原油の輸出が中心であったが、近年はバイオ燃料の需要の高まりを受け、輸出品目をコーヒー豆のみに特化させている。 | 2. 1970年頃から現在まで輸出品目の内訳にほとんど変化はなく、常に大豆が輸出額の1位であり、コーヒー豆は常に5位以下である。 | 3. 1970年頃には輸出額の3割以上を占めていたコーヒー豆の割合が低下し、2019年の統計では大豆が輸出額の1位となっている。 | 4. 1970年代から現代に至るまで、一貫してコーヒー豆が輸出額の5割以上を占め続けており、モノカルチャー経済の傾向がより強まっている。 |
|---|--|--|--|
- 問7 南アメリカ大陸の東側に位置し、大陸で最大の面積を持つ国について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2018年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 北部にアマゾン川が流れており、焼畑農業によって熱帯林を保護しながら、世界最大のコーヒー豆生産量を維持している。 | 2. かつてポルトガルの植民地であった歴史からポルトガル語が公用語となっており、航空機産業などの高度な工業も発達している。 | 3. スペインの植民地であった影響でスペイン語が公用語となっており、アンデス山脈のふもとで小麦やブドウの栽培が盛んである。 | 4. 広大な乾燥帯の土地を活かして羊の放牧が盛んに行われており、アジア諸国へ鉄鉱石や石灰を大量に輸出している。 |
|--|---|---|---|
- 問8 オーストラリア北部の都市の気候統計において、「年平均気温が28.9度」「年降水量が1653.1mm」「12月から2月の降水量が極めて多い」というデータが得られた場合、その背景として正しい説明はどれですか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--------------------------------------|
| 1. 内陸部に位置し、海からの湿った空気が遮断されるため、年間を通じて乾燥する。 | 2. 赤道から遠い高緯度に位置するため、年間を通じて偏西風の影響を強く受ける。 | 3. 南半球に位置するため、北半球の冬にあたる時期に夏季を迎え、雨季となる。 | 4. 北半球と同じ季節変化を持つため、6月から8月に気温が最も高くなる。 |
|--|---|--|--------------------------------------|
- 問9 タイなどの東南アジアでは、キャッサバからでんぷんを取り出した後の残りがすなどを原料に、バイオエタノールを製造する取り組みが行われています。このようなエネルギーの利用が推奨される理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 植物原料が成長時に二酸化炭素を吸収するため、燃焼しても大気中の二酸化炭素の総量を増やさないと思なされるから | 2. 化石燃料よりも燃焼時のエネルギー効率が格段に高く、少ない量で多くの電力を供給できるから | 3. 太陽光や風力発電と異なり、天候に左右されず24時間全く同じコストで発電を続けることができるから | 4. 食料としての需要が全くない植物のみを原料とするため、世界の食料価格に影響を与える心配が一切ないから |
|--|--|--|--|
- 問10 銅の需給に関するある統計資料において、鉱山から直接採り出された「産出量」が約20,500千トンであるのに対し、製品の原料として供給された「生産量」は約24,400千トンとなっており、生産量が産出量を大きく上回っています。このように、生産量が産出量を上回る主な理由として、現代社会で行われているどのような取り組みが挙げられますか。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 過去に採掘して保管されていた在庫を放出し、市場への供給量を調整しているため | 2. 廃棄された製品などから回収された再生資源が、リサイクルされて再び利用されているため | 3. 不足分を補うために、海外から未加工の鉱石を大量に輸入して備蓄しているため | 4. 技術革新によって、同じ量の鉱石から抽出できる金属の割合が大幅に向上したため |
|--|--|---|--|